



とちのみ通信

Vol. 10



2025 年 7 月 生活介護事業所とちのみ 〒191-0033 東京都日野市百草 1042-21 <https://mogusa-asunaro.jp/seikatu> MAIL: tochinomi@kashima-kaiatsu.co.jp TEL : 042-506-5780 FAX : 042-506-5781

大変お待たせしました。2025（令和 7）年度「とちのみ通信」第一号が出来上がりました。
活動内容や行事の様子をお届けします。

新入生歓迎会

七生特別支援学校の卒業生の 2 名が新たにとちのみの仲間に加わりました。 実習では真面目に取り組み、色々な作業と活動に取り組んでくださいました。 まだまだ可能性のある 2 名です。 職員一同、良い所を伸ばし、活かしていく支援をしていきたいと思ひます。 どうか応援をよろしくお願ひします。



追記、5 月末より新しい仲間が 1 名増えました。
賑やかになってきました。



人形劇

新入生歓迎会と同じ日に「人形劇」が開催されました。
キラキラ人形劇団は、小平市の事業所「リズム工房」の方々です。



調理実習

月に一回、調理実習を行っています。
メニューは季節毎に候補を出し
利用者の方々と話し合いで決めています。



4月はおにぎりとお稲荷さんを作り、ベランダでお花見をしながら食べました。



家族会・施設見学

いつも連絡帳や送迎のわずかな時間だけでしか、様子をお伝えすることができないので、実際の活動を観ていただきました。こんなこともできるの?! とちのみではこんななの?! いつも話しているあれはこれのことね・・・など発見があったかと思います。

また、お昼の休憩時間には、申込制で保護者の皆さんに同じ昼食を食べていただきました。

昼食後は、とちのみより活動内容の説明や報告、事前に出していただいた質問にお応えしました。
利用者さんは、ご家族が来てくれるのがうれしいようで何日も前からソワソワされ、とても楽しみにしています。

会を通してご家族同士での情報共有なども行っていただけているようです。
次回はご家族同士お話しできる時間を設けたいと思いますので、ぜひご参加ください。

職員紹介



金子 絵美子（かねこ えみこ）

今年で障害福祉職員になり 40 年となります。未だに毎日が勉強です。利用者さん職員と共にかんばってまいります。



有澤 浩子（ありさわ ひろこ）

いつも大変お世話になっております。とちのみのサービス管理責任者として働かせていただき、とちのみの皆さんの明るい笑顔と優しく楽しい声掛けに、いつも元気と癒しをいただいています。グループホームやえざくらとも交流を深めることができます。今年の暑さはものすごいです、水分をしっかりと取りながら夏を乗り切りましょう！ 本人主体、自己決定（自分で決めることは幸せなこと）を私の指針としています。どうぞよろしくお願いいたします。



中前 秀晴（なかまえ ひではる）

令和 6 年 10 月から入職しています。早いものでもう 8 ヶ月経ちました。色々な事にチャレンジしてもらいたいと思い、日々業務に就いています。利用者さんの頑張りのかいがあり、色々な作業を依頼されています。私も負けない様に利用者様にとってチャレンジしがいいのある環境づくり、前向きな支援計画を立てていこうと思います。



熊木 順一（くまき じゅんいち）

利用者の成長や、日々の生活の楽しみが一つでも多く増えるように支援していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



宍戸 夏音（ししど なつね）

支援員の宍戸夏音と申します。私は介護福祉士の専門校を卒業し 2 年前に新卒でとちのみに入社しました。専門校での経験を活かし福祉のプロとして質の高い支援を実践し、利用者の方々の生活をより良くして行く事を目的としております。福祉歴 2 年の若輩者ですが日々精進し利用者の方々と共に成長出来る様努めてまいります。



村山 美保（むらやま みほ）

障害当事者の親としての視点を活かし、問題行動を原因不明と決めつけず、声なき声に耳を傾け、皆さんに寄り添う支援をしていきたいと思っています。



小山 眞里子（こやま まりこ）

新年度を迎え色々な作業が増えたり、新しくグループを決めたりと日々が過ぎました。これからも楽しくまた、一緒に成長していけるように努力していきたいと思っています。



神崎 留理子（かんざき るりこ）

非常勤として入職し 4 年経ちましたが、日々やりがいを感じています。利用者の皆様と信頼関係を深め、寄り添える支援を心掛けています。「とちのみに来て良かった！」と思ってもらえるよう頑張ります。



小林 航平（こばやし こうへい）

初めまして、5 月からお世話になっております、小林航平です。福祉系のお仕事は初めてなのでわからないことばかりですが、よろしくお願いいたします。



岩崎 真理子（いわさき まりこ）

利用者さんから信頼され、とちのみで過ごす毎日が楽しいと思っていただけるような支援をしていきたいと思っています。



福田 翔太（ふくだ しょうた）

2023 年 3 月より、お世話になっております。私の支援に対する想いは、利用者様がとちのみにお越しいただいた際に「楽しい」と感じていただけることです。又、昼食においては、皆様に食事を心から楽しんでもらえるよう、精一杯の工夫を凝らして提供してまいりたいと考えております。



高津 由衣（たかつ ゆい）

とちのみに来て約 1 年が経ちました。仕事にもだいぶ慣れて、上手く支援できてきたのかなと思っています。支援には正解がないことも多く学ぶことばかりですが、利用者さんにとっても支援員にとっても、居心地のよい場を一緒に作ることが目標です。皆さんと協力して前向きに、色々なことを挑戦していきたいと思います。諸事情により 1.2 ヶ月程お休みしていますが、すぐ復帰するのでその時は皆さんまたよろしくお願いします！



西 道子（にし みちこ）

看護師としての視点を活かせるよう心がけつつ、支援員の皆さんと協力し、安心・安全な支援に努めたいと思います。

手芸や木工など月数回携わってくださる支援員さんです



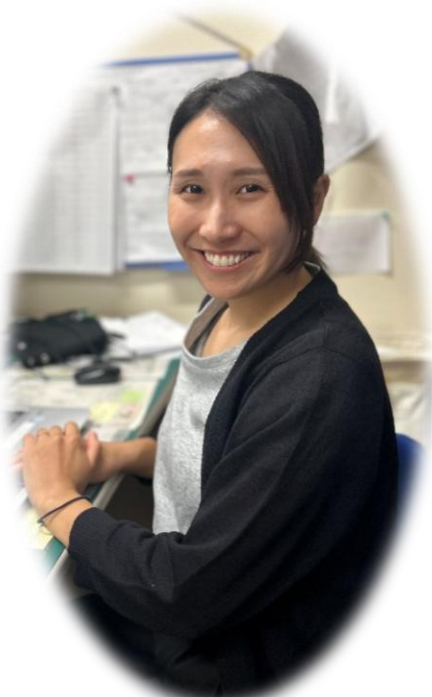
権田 佳江（ごんだ よしえ）



秋山 善國（あきやま よしくに）



相談室 さくらそう



**川又 千鶴
（かわまた ちづる）**

とちのみの生活支援員として 2021 年 4 月に入職し、ご利用者様と沢山の楽しい日々を過ごし、あっという間に 4 年の月日が経ちました。

私生活では、元気な我が子（年子兄弟）も小学生になり、育児も少し落ち着いたところで上司から兼ねてより興味があった相談員としての勤務のお話をいただきました。

今年は金子施設長の元で修行をしながら相談室さくらそうの相談見習いとして仕事を覚え、頑張ります。

引き続き、とちのみのご利用者様と昼食を一緒に食べたり、関われる機会もありますので繋がっていただけることを嬉しく思っております。

ご利用者様にはご利用者様らしい生き方と望む暮らしを実現する為のサポートをしていけるよう私自身、謙虚な気持ちで精進していきたいと思っております。今後ともどうぞ、よろしくお願いいたします。





職員研修と虐待防止に向けた取り組みについて

とちのみでは、毎月通所がない月末の土曜日に一日かけて職員研修と会議を行っています。外部講師などを招いて、「自律」「性支援」等テーマを持った研修会や、業務調整等の職員会議も行いますが、5月からは人権擁護・虐待防止に関する研修を重点的に行っています。

以前より「身体状況連絡票」「ヒヤリはっと」「事故報告書」に記入を勧め、毎月たくさんの事例が上がってきますが、会議ではまずその結果を係がまとめたものを叩き台として、事故や不適切な支援を検証する会議を持っています。また研修の合間に「利用者の気持ちになって食べてみよう」というような「本人体験」も繰り返し行ってきました。また、毎月全職員に「虐待チェックリスト」の提出を求めており、各々の職員が自分の支援が適切であったかを一か月毎に振り返る機会を持っていますが、5月からはそのチェックリストの記入欄と「虐待防止委員会」の会議録から、構造的・特徴的な課題を抽出し、現実的なシチュエーションを想定して、虐待につながらない「適切な支援をするには具体的にどうするか」という演習を、毎月繰り返し行うようにしました。虐待の原因は、①障害の理解・支援技術、②感情コントロール、③倫理観や理念、④組織風土・職員間の関係性等が大きくかかわっていると言われていたのですが、結局は、「信頼しあい・尊重しあい・意見を言い合える支援チーム」を作り、単独プレイではなくチームで良い支援を追求していくことが、一番重要な対策と考えています。

その考えの元、今期はグループ担当制を作り職員同士の主体的・有機的な繋がり、支援力向上に取り組みました。結果、支援の共通理解や引継ぎの向上等、成果が見られ始めています。今後も頑張っていきます。

チーム名・マーク・担当職員をご紹介します。どのチームに所属しているのか聞いてみてください！



スターチーム
担当：熊木・小林



ねこちゃんチーム
担当：小山



ドラえもんチーム
担当：中前・穴戸



嵐チーム
担当：村山・岩崎

※お願い

服薬内容が変更になりましたら、お薬手帳をお持ちください。コピーをとらせていただきます。
新しい受給者証が届きましたら、お持ちください。事業者記入欄に押印しコピーをとらせていただきます。





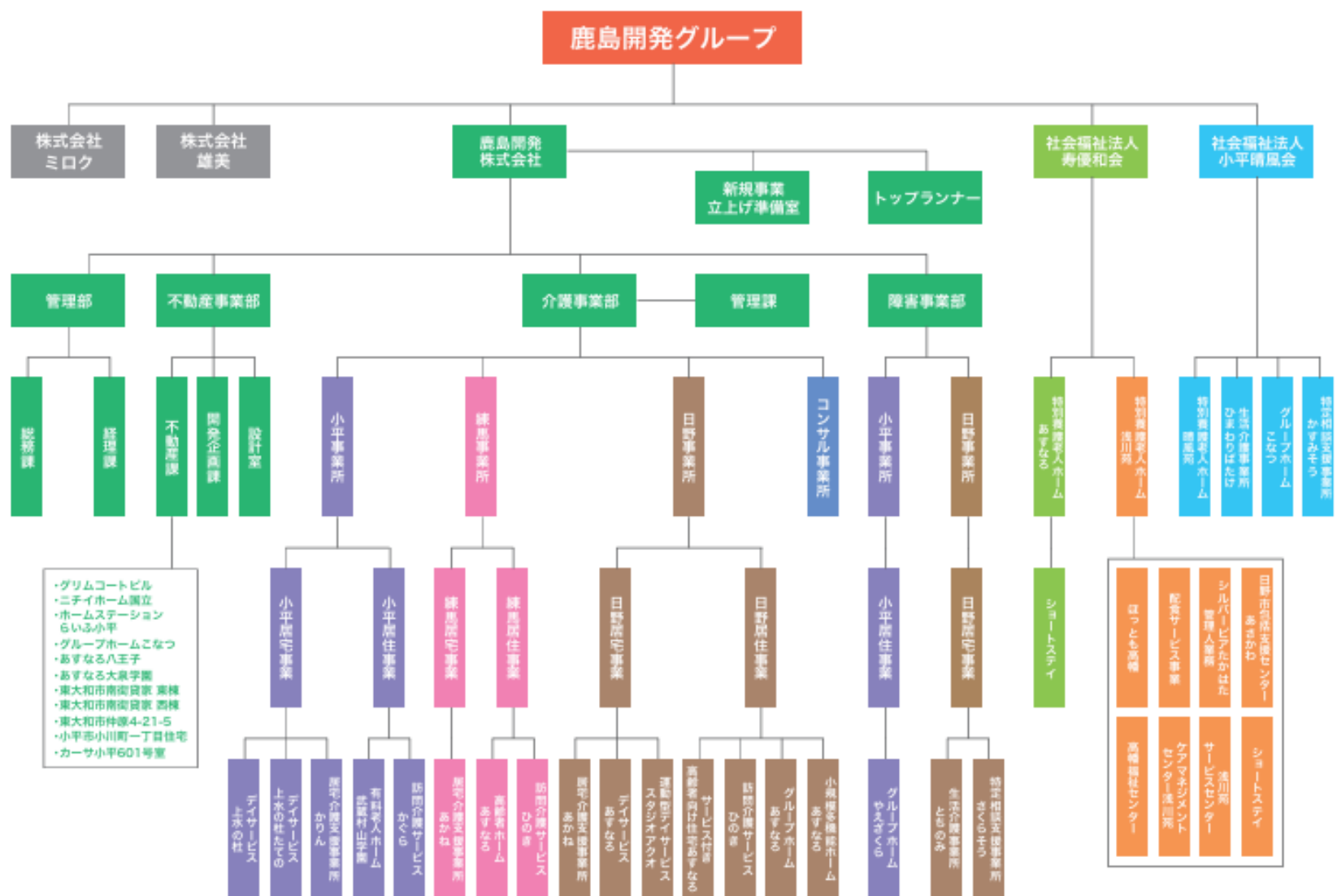
私たちは、皆さま一人ひとりが安心して、自分らしく毎日を過ごしていただけることを、何よりも大切に考えており、皆さまが笑顔で過ごされる姿、何かに挑戦されている姿から、私たち職員もたくさんの力と元気をいただいております。

また福祉の仕事は、「支える側」と「支えられる側」という関係ではなく、お互いに支え合いながら、学び合う関係だと私は考えます。

これからも、皆さまの「やってみたい」「こうしてほしい」といった声を大切にしながら、一緒によりよい毎日をつくっていかれたらと思っております。

私たちは皆さまの可能性を信じています。どんな小さな一歩であっても、それが未来をひらく大きな力になると信じて、共に歩んでいければと考えております。

まだまだ至らない点もあるかと思いますが、職員一同、心を込めて取り組んでまいります。
これからもどうぞ、よろしくお願いいたします。



2025年1月現在